2026 年 8 月 3-9 日

113 番の歌 私たちの平和

ほかの人が決めたことを尊重する

「異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません」。ローマ 14:1

ポイント：ほかの人が決めたことについて何か言いたくなった時，どうしたらいいでしょうか。

1-2. 人によって感じ方や考え方が違うのはどうしてですか。

自分が決めたことについて，ほかの人から批判されたことがありますか。仲間が決めたことについて，あれこれ言ってしまったことがありますか。そういうことは誰にでもあるものです。

2 どうしてでしょうか。私たちにはみんな個性があります。文化や家庭環境や経験したことが違うと，考え方や感じ方も違ってきます。とはいえ，そうした違いのせいで，会衆の和やかな雰囲気が壊れてしまわないようにすることは大切です。（エフェ 4:3 **平和という絆で結ばれ，聖なる力による一致を保つよう真剣に努力してください。**）

3. ほかの人が決めたことについて，何か言いたくなることがあるのはどうしてですか。

3 ほかの人が自分の考えとは違う決定をした時，「そうしない方がいい」と本人に言いたくなるかもしれません。「本当に大丈夫かな？」と誰かに言いたくなることもあります。仲間のことを心から思っているからです。（格 17:17 **真の友はどんな時にも愛を示す。 苦難の時に頼れる兄弟である。**）後悔するような決定はしてほしくない，エホバから離れてしまうようなことになってほしくない，と思っています。

4-5. 兄弟姉妹と自分の意見が違う場合，どうしたらいいですか。

4 では，兄弟姉妹が自分の考えとは違う決定をした時，何か言った方がいいのでしょうか。ケースバイケースです。もし聖書の教えに反することをしようとしているなら，相手のことを思って助けなければいけません。（格 27:5，6 はっきり戒める方が，愛を秘めているよりも良い。 6 忠実な友は傷を負わせ， 敵はたっぷり(if*不誠実な/強いられて)口づけをする。）でも，聖書の教えに反してはいなくて，ただ自分の意見とは違うというだけならどうしますか。この記事の主題聖句にある通り，「異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません」。（ロマ 14:1 信仰に弱いところがある人を迎え入れてください。異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません。）

5 でも，ほかの人が決めたことを尊重するのが難しいと思うこともあるでしょう。この記事では，②ほかの人の意見を尊重することが大切なのはなぜか，③どのようにして尊重できるかを考えます。①まず，兄弟姉妹が決めたことを批判したくなりそうな場面を幾つか考えてみましょう。

ほかの人が決めたことを批判したくなる場面

6-7. ほかの人が決めたことを批判したくなるどんな場面がありますか。

6 私たちは，生い立ちや過去の経験が原因で，特定のことについて強いこだわりを持ってしまうことがあります。ほかの人も自分と同じ考え方をしているはずだ，と思うかもしれません。でも，そうとは限りません。幾つかの場面を取り上げましょう。***場面 1*** ある兄弟は子供の頃，父親がアルコール依存症でした。それで，食事会で兄弟姉妹がお酒を飲んでいるのを見て驚き，「お酒を飲むのは良くないんじゃないんですか」と言います。***場面 2*** ある姉妹は重い病気を克服しました。しばらくして別の姉妹も同じ病気にかかっていることを知ります。それでその姉妹の力になりたくて，自分に効果があった治療法を強く勧めます。特定の病院での治療や薬，食事療法や自然療法などです。***場面 3*** ある兄弟は昔，別の宗教の会員で，もう二度と関わりたくないと思っています。それで，仲間のクリスチャンが教会での葬式に出席したことを聞いてあぜんとします。

*クリスチャンが教会での葬式や結婚式に出席するかどうかを決める時には，幾つかの点を考えなければいけません。詳しくは，「ものみの塔」2002 年 5 月 15 日号の「読者からの質問」の記事を見てください。

7 ほかの場面も考えましょう。***場面 4*** ある兄弟は，男性が顎ひげを生やすことや，女性が公式の場でスラックスを履くことはふさわしくない，と考えられていた時代に育ちました。兄弟は統治体の新しい指針を知っていますが，「兄弟たちは顎ひげを生やすべきではない」，「姉妹たちは伝道や集会の時スカートを履くべきだ」と言い続けます。***場面 5*** ある長老は以前，大学に進学した兄弟がエホバに仕えるのをやめてしまったことを覚えています。それで，会衆の若い兄弟が進学すると聞いて心配になり，その兄弟と親を説得して進学をやめさせようとします。

8. （ア）どんなことでほかの親を批判したくなるかもしれませんか。（イ）ほかの人についてあれこれ言おうとすると，会衆にどんな影響がありますか。

8 親がほかの親を批判したくなる場面もあります。***場面 6*** ある親は「エホバが望む指導と助言によって」一生懸命子供を育ててきました。（エフェ 6:4 父親は，子供をいら立たせないようにし，エホバが望む指導と助言によって育ててください。）でもほかの兄弟姉妹はというと，子供を甘やかしているように見えます。門限が少し遅かったり，暴力的ではないゲームをさせていたり，早いうちからスマホを持たせていたりします。それで子供から「友達の親は許してくれているのに，どうしてうちは厳しいの？」と言われてしまいます。そうなると，ほかの親を批判したくなるかもしれません。でも，クリスチャンはみんなそれぞれ意見が違って当然です。例えば，どんなふうにお金を使うか，どれぐらい旅行に行くか，何をして遊ぶか，といったことです。自分と考え方が違う兄弟姉妹についてあれこれ言いたくなるかもしれませんが，会衆の仲間との良い関係を壊さないようにしましょう。

9. 自分とは違う決定をする人がいる場合，どんな考え方ができますか。（挿絵も参照。）

9 人によって意見が違うことがありますが，必ずしも一方が正しくて，もう一方が間違っているというわけではありません。（ロマ 14:5 ある人は，ある日がほかの日に勝ると判断し，別の人は

，ある日がほかのどの日とも同じだと判断します。いずれにしても，**各自が考えて確信しているべき**です。）私たちはエホバの基準について「同じ考え方」をするように教えられています。でも，自分で自由に決めてよいこともあります。（コリ二 13:11 最後に，兄弟たち，これからも喜び，正され，慰められ，**同じ考え方をし，平和に生活して**ください。そうすれば，愛と平和の神が共にいてくださいます。）こんな例えで考えてみましょう。ある場所へ旅行に行くとします。目的地は決まっていますが，ルートはいろいろあるでしょう。自分の状況に応じて好きなルートを選べます。クリスチャン一人一人が決めることについても同じです。選択肢はいろいろありますが，目指すべきところは同じです。エホバに喜んでもらうことです。それで，人が決めたことについて，いろいろ口出ししないようにしましょう。（マタ 7:1 **裁くのをやめなさい**。裁かれないためです。テサ一 4:11 私たちが指示した通り，穏やかに暮らし，**人に干渉せず**，自ら働くことに努めてください。）



目的地へ向かうルートは一つではない。

クリスチャンが自分で決めることにも選択の幅がある。（9 節を参照）

ほかの人の意見を尊重するのはなぜか

10. ヤコブ 4 章 12 節によると，私たちにはどんな権利はありませんか。どうしてですか。

10 ほかの人が決めたことを尊重しないといけないのはどうしてでしょうか。理由は幾つかあります。まず，***私たちにはほかの人を批判する権利はありません***。（ヤコブ 4:12 法を定める方，裁く方はただひとりです。救うことも滅ぼすこともできる方です。それなのに**隣人を批判するあなたは，いったい何者**なのですか。を読む。）何が正しくて何が間違っているかを決められるのはエホバだけです。兄弟姉妹は自分が決めたことについて，エホバにきちんと説明する義務があります。でも，私たちに対して説明する義務はありません。（ロマ 14:10 それなのに，あなたはなぜ兄弟を批判するのですか。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆，神の裁きの座の前に立つことになります。）私たちには自分の基準や考え方でほかの人を批判する権利はありません。*長老たちは時折，**重大な罪を犯した人**に関して**判断を下す必要**があります。でも，**自分の基準ではなくエホバの正しい基準に基づいてエホバのために判断を下す**，ということを**忘れないように**します。（歴代第二 19:6 と比較。）

11. どうすれば会衆の和やかな雰囲気に貢献できますか。（写真も参照。）

11 ***エホバが私たちに望んでいるのは，心を一つにすることで，型にはまることではありません***。エホバが造ったものを見ればそれが分かります。雪の結晶は一つとして同じものはありません。地球上には 80 億人以上の人がいますが，性格も外見もみんな違います。エホバは私たちに個性を大切にしてほしいと思っています。それと同時に，心を一つにしてほしいとも願っています。そ

れで，個性の違いのせいで分裂するのではなく，お互いを受け入れ，仲良くすることは大切です。自分の意見や好みよりも，兄弟姉妹との絆を大切にしましょう。（ロマ 14:19 ですから，**平和に役立つことや，励まし合う助けになることを何でも行い**ましょう。）



エホバは私たちに，お互いの個性を大切にして仲良くしてほしいと思っている。（11 節を参照）

どうすればほかの人の意見を尊重できるか

12-13. 誰かが「道を踏み外した」と思う時，どんなことを考えるといいですか。（ガラテア 6:1。「ほかの人が決めたことが気になる時」という囲みも参照。）

12 ***ほかの人の決めたことが気になる時***。こう考えてみましょう。「その人は『道を踏み外し』ているのだろうか，それとも自分と好みが違うだけだろうか」。もしその人が聖書の命令に反して道を踏み外している場合でも，こう考えてみましょう。「私はその人を正す資格があるだろうか。もっと適任な人がほかにいるだろうか」。自分に資格があるとしても，優しく親切に話すようにしましょう。（ガラテア 6:1 兄弟たち，**誰かが道を踏み外した**なら，たとえ**気付かずにそうした場合でも**，クリスチャンとして**十分に資格がある皆さん**は，その人を**優しく(*温和な精神で)正す**ことに努めてください。そして，自分も**誘惑されることがないように注意**してください。を読む。）でも大抵は，自分と好みが違うだけかもしれません。そういう場合は，相手が間違っていると決め付けたり，批判したりしないようにします。決める権利は相手にある，ということを忘れないようにしましょう（ロマ 14:2-4 ある人は何でも食べてよいという信仰を持っていますが，弱い人は野菜しか食べません。 3 食べる人は食べない人を見下してはならず，**食べない人は食べる人を批判してはなりません。神がその人を迎え入れた**のです。 4 他人の召し使いを批判するとは，あなたは何者なのですか。その人が立つのも倒れるのも，その人と主人との間でのことなのです。実際，その人は立つようにされます。**エホバはその人を立たせることができる**からです）

13 例えで考えてみましょう。友達とご飯を食べに出掛けた時，友達に自分と同じメニューを注文するように無理強いしたりするでしょうか。そんなことはしません。友達が自分で決められるようにするでしょう。友達が何を食べても，あなたにはほとんど影響がないはずです。逆に，友達から友達の好きなメニューを無理強いされたら嫌だと思いませんか。同じように，誰かが何かを決める時，自分の意見を押し付けたりせず，相手が自由に決められるようにするなら，その人の考えを尊重していることになります。

ほかの人が決めたことが気になる時

まず次のことを考えてみましょう。気にする必要がないことが分かるかもしれません。（ガラ 6:5 人はそれぞれ，**自分の荷を自分で負う**のです。）

- その人が決めたことは聖書の命令に反しているだろうか。
- 育った環境が違うので，自分とは見方が違うのだろうか。
- その人の決定は本当に当人のためにならないのだろうか。自分は心配し過ぎだろうか。
- その決定はどんな良い結果になる可能性があるだろうか。
- その人は「道を踏み外し」ているのだろうか。自分と好みが違うだけだろうか。
- 道を踏み外している場合でも，自分にはその人を正す資格があるだろうか。

14. 自分で何かを決める時，どうすれば会衆の平和を守れますか。（コリント第一 8:12，13）

14 ***自分が何かを決める時***。ここまで考えてきたように，ほかの人が決めたことを尊重するのは大切です。私たちも自分が決めたことを兄弟姉妹に尊重してほしいと思います。でも何かを決める時，兄弟姉妹の気持ちも考えるようにしましょう。そうすれば，会衆は温かくて居心地の良い所になります。（コリント第一 8:12，13 そのようにして兄弟に対して罪を犯し，**兄弟の弱い良心を傷つけるなら**，皆さんは**キリストに対して罪を犯している**ことになります。13 それで，食物によって私の兄弟に過ちを犯させ(*兄弟の信仰を妨げ)ることになってしまうなら，**私はもう決して肉を食べません**。私の兄弟に**過ちを犯させ(*兄弟の信仰を妨げ)ないため**です。を読む。）たとえ自分が決めたことが「許されてい[る]」，つまり間違ってはいないとしても，そのせいで兄弟姉妹がざわざわした気持ちになるとしたら，本当に「ためになる」決定をしたといえるでしょうか。*具体的な例については，「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 35 のポイント 5 を参照。（コリ一 10:23，24 **全てのことが許されていますが**，**全てのことがためになるわけでは**ありません。全てのことが許されていますが，**全てのことが励みになるわけでは**ありません。24 **各自，自分のためになることではなく，人のためになることをいつも優先**しましょう。）そういう時は，自分のやりたいことを押し通そうとするのではなく，兄弟姉妹の気持ちを優先させましょう。（ロマ 15:1 私たち強い人は，**強くない人の弱いところを担うべき**であって，**自分を喜ばせていては**なりません。）ローマ 12 章 18 節にもこう書かれています。「できる限りのことをして，どんな人とも平和な関係でいるようにしましょう」。それで何かを決める時，兄弟姉妹を嫌な気持ちにさせないようにできる限りのことをしたいと思います。そうすれば，会衆の平和を壊さずに済みます。

15. 会衆が一つにまとまっているために，長老たちにはどんなことができますか。（コリント第一 4:6）

15 ***長老たちはほかの人が決めたことを尊重する***。会衆が一つにまとまっているために，長老たちにもできることがあります。一人一人が決めてよいことについて，ルールを作ったり，聖書に「書かれている事柄を越え」たりしないようにします。（コリント第一 4:6 さて，兄弟たち，私は皆さんのために，こうしたことを私とアポロに当てはめて論じてきました。「**書かれている事柄を越えてはならない**」という点を学んでもらい，皆さんが**思い上がって**人を**ひいきしたり見下したり**することの**ないため**です。を読む。）エホバの証人の出版物に出てくる聖書からのアドバイスを超えたことも教えたりはしません。兄弟姉妹から相談を受けた時も，自分の知識や経験からではなく，聖書に基づいたアドバイスをします。（イザ 48:17，18 あなたを救う(d*買い戻す)方，

イスラエルの聖なる方，エホバはこう言う。「私エホバは，あなたの神である。**あなたのため**になる**生き方を教え**，あなたを導いて**正しい道を歩ませる**。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！そうすれば，**あなたの平和**は**川の流れのように豊か**になり，**あなたの正しい行い**は**海の波のように多く**なる。）

16. 長老は長老団の決定をどのように尊重しますか。

16 長老は，長老団で決定したことを尊重するようにもします。長老団は聖なる力を求めて祈り，聖書に基づく指示を調べ，熟慮の上で決定します。それで自分の意見とは違う決定であっても，受け入れて協力します。（エフェ 5:17 もう無分別なことをしてはなりません。いつでも，エホバが何を望んでいるかを見極めましょう。）また，長老たちは与えられている指示を深読みし過ぎないようにします。例えば，自分の意見が正しいことを示そうとして，出版物の一文を文脈から切り離して持ち出すようなことはしません。

17. ほかの人が決めたことを尊重するようにすると，会衆はどんな所になりますか。

17 この記事で考えたように，私たちには一人一人個性があって，意見や好みが違います。そういう多様性があるのは良いことです。文化や性格が違う人たちが集まっているからこそ，会衆は魅力的なのです。それで，個性の違いのせいで分裂するのではなく，お互いを受け入れましょう。ほかの人の気持ちにも配慮するようにします。兄弟姉妹が自分で決めたことを尊重しましょう。そうすれば，会衆はお互いが強い絆で結ばれた温かい所になるでしょう。（**詩 133:1 兄弟たちが一致して共に住む**のは，**何と素晴らしい**ことだろう。**何と心地よい**ことだろう。マタ 5:9 **平和をつくる人たち**は**幸福**です。**神の子**と**呼ばれる**からです。）

ほかの人の意見を尊重することについて次の聖句から何を学べますか

1．ヤコブ 4:12（法を定める方，裁く方はただひとりです。救うことも滅ぼすこともできる方です。それなのに隣人を批判するあなたは，いったい何者なのですか。）

・S10　何が正しくて何が間違っているかを決められるのはエホバだけです。兄弟姉妹は自分が決めたことについて、エホバにきちんと説明する義務があります。でも、私たちに対して説明する義務はありません。私たちには自分の基準や考え方でほかの人を批判する権利はありません。

2．ガラテア 6:1（兄弟たち，誰かが道を踏み外したなら，たとえ気付かずにそうした場合でも，クリスチャンとして十分に資格がある皆さんは，その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして，自分も誘惑されることがないように注意してください。）

・S12　①ほかの人の決めたことが気になっても、「その人は『道を踏み外し』ているのだろうか、それとも自分と好みが違うだけだろうか」と考えてみる。②もしその人が聖書の命令に反して道を踏み外している場合でも、「私はその人を正す資格があるだろうか。もっと適任な人がほかにいるだろうか」と考え、③さらに自分に資格があるとしても、優しく親切に話すようにする。

3．コリント第一 4:6（さて，兄弟たち，私は皆さんのために，こうしたことを私とアポロに当てはめて論じてきました。「**書かれている事柄を越えてはならない**」という点を学んでもらい，皆

さんが思い上がって人をひいきしたり見下したりすることのないためです。); 8:12，13(そのようにして兄弟に対して罪を犯し，兄弟の弱い良心を傷つけるなら，皆さんはキリストに対して罪を犯していることになります。 13 それで，食物によって私の兄弟に過ちを犯させ(*兄弟の信仰を妨げ)ることになってしまうなら，私は**もう決して肉を食べません**。私の兄弟に**過ちを犯させ(*兄弟の信仰を妨げ)ないため**です。)

・S15　会衆が一つにまとまっているために、長老たちにもできることがある。一人一人が決めてよいことについて、ルールを作ったり、聖書に「書かれている事柄を越え」たりしないようにする。

・S14　ほかの人が決めたことを尊重するのは大切。私たちも自分が決めたことを兄弟姉妹に尊重してほしいと思う。でも何かを決める時、兄弟姉妹の気持ちも考えるようにするなら、会衆は温かくて居心地の良い所になる。

89 番の歌 聞いて従い，神の祝福を得る

^ クリスチャンが教会での葬式や結婚式に出席するかどうかを決める時には，幾つかの点を考えなければいけません。詳しくは，「ものみの塔」2002 年 5 月 15 日号の「読者からの質問」の記事を見てください。

^ 長老たちは時折，重大な罪を犯した人に関して判断を下す必要があります。でも，自分の基準ではなくエホバの正しい基準に基づいてエホバのために判断を下す，ということを忘れないようにします。（歴代第二 19:6 と比較。）

^ 具体的な例については，「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 35 のポイント 5 を参照。

^ （ロマ 14:1） 信仰に弱いところがある人を迎え入れてください。異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません。

^ （エフェ 4:3） 平和という絆で結ばれ，聖なる力による一致を保つよう真剣に努力してください。

^ （格 17:17） 真の友はどんな時にも愛を示す。 苦難の時に頼れる兄弟である。

^ （格 27:5， 6） はっきり戒める方が，愛を秘めているよりも良い。 6 忠実な友は傷を負わせ，敵はたっぷり*口づけをする。

もしかすると，「不誠実な」，「強いられて」。